

栃木県立鹿沼東高等学校 JRC部

高校生ボランティア・アワード2021

共生社会実現に向けて

今市特別支援学校

緑のステージ 交流会



緑のステージ活動では、子どもたちとペアになり、一緒に花の苗を植えます。子どもたちとの交流を通して、共生社会の実現に向け何が必要かを気づくことができました。



クリスマス会



何をしたら喜んでくれるか、相手の立場に立って、一生懸命に考える特別な活動です。メダルのプレゼントや出し物のゲームで子どもたちは大喜び。子どもたちの笑顔があふれ、とても嬉しかったです。

子どもたちの「ありがとう」「また来てね」などの言葉が私たちの活動の源！

～障がいのある子ども達との交流～

放課後テイサービス スマイル



学習支援

プール遊び



何をすればよいかを考え、行動したり、相手の立場に立って考え同じ視点になって接したりすることの大切さを学びました。
子どもたちの笑顔にたくさんの元気をもらいました。

常に笑顔で全力で

～より良い社会を目指して～

あしなが育英会募金

病気や災害などで親をなくした子供たちや障がいなどで、親が働けない家庭の子供たちを奨学金や教育支援をする。



私達の知らないところで、様々な困難を抱えている人がいることに気づきました。

そのことをより多くの人に伝えたくて、大きな声で、多くの人に呼びかけました。

大きな声で積極的に

発展させた活動への挑戦

～新たな始まり～

運動会補助 ボランティア

これまでの2年間の交流から、今年は運動会ボランティアにお誘いいただきました。



子どもたちが全力で楽しく競技が行えるように活動のサポートをすることを第一に考えました。

子どもたちと目線を合わせ、いっぱいコミュニケーションを取りました。

県立盲学校

文化祭での展示・啓発

視覚に障がいがある方について知ろう

白杖・点字ブロックをお借りし、白杖の使い方や接するときに注意することなどをレクチャーしていただきました。



お礼にパズルを贈ろう



視覚に障がいがあっても楽しめるパズル(3パターン)を手作りして贈りました。

視覚に障がいのある方にどんな支援ができるのかを学びました。

1/47プロジェクト

「海はないけど、海につながる川がある！」



県内の高校に呼び掛け、8校 計80名が集結し、宇都宮市の中心部にある田川を清掃しました。

私たちの呼び掛けに、多くの人に参加してくれ、一緒に活動できて本当に良かったです。

遠くから眺めるとゴミがないように見えても、実際に足を運ぶとたくさんのゴミがあることに気づきました。

☆身近な所でも、障がい者差別やジェンダー差別など、生きづらさを感じている人はいないか？

気づき

考え

☆『自分』は何ができるのか？
☆「できない」ではなく、「できるようにする」ためにどうすればいい？

実行する

☆常に相手の立場になって行動する。
☆積極的・主体的に自ら進んで行動する。
☆振り返りや話し合いの中で、情報を共有する。

☆『心のバリアフリー』を1人1人が意識し、自分とは違う状況の人たちの持っている困りごとや痛みを想像し、感じる力を身につけていく。

今後の活動・展望

～さらなる発展と挑戦～

自分とは違う立場の人たちに「これは、できないだろう」と決めつけるのではなく、どうすれば理解して実践できるかを考え、繋げていく。

部活動内の活動や理解にとどめることなく、自分たちの学びや経験を、より多くの人と共有できるよう、積極的に発信する。

「協力できる」ことが強味の本校JRC部の良さをこれからも発揮し、3年間の限られた活動に終わらせることなく、さらに良い活動に発展できるよう、後輩に伝えていく。

地域の他の学校のJRC部と協力し、他校との意見交換を積極的に行い、活動の輪をさらに大きくしていく。

